

2004 年 3 月 1 日発行
 発行人：堺 充廣
 発行所：神戸市中央区海岸通 8
 神港ビルディング 5 階 509
 TEL/FAX：078-393-0050
 (TEL・FAXとも同じ番号です。)
 E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
 URL：<http://www.kobekeio.org/>
 編集：堀 友子・八巻 晤郎

～ 2 月例会報告 ～

森田 和男 (昭 40 商)
 (芦屋三田会・関西ワグネル三田会)

神戸慶應倶楽部の 2 月例会はメリケンパークオリエンタルホテルのマリンホール(チャペル)にバリトン歌手木村俊光氏(桐朋学園大学教授)をお迎えして開かれました。(伴奏は川島伸達氏)



木村俊光氏

補助席を入れての満員盛況でしたが、この世界的な歌手をお迎えするには狭いホールでした。その分、歌とおしゃべりの楽しいムードの贅沢なミニコンサートでありました。

木村先生は大阪フィルハーモニー交響楽団と「第九」や定期演奏会等で共演が数十回に及ぶほど関西になじみが深く、熱心なファンが多くいらっしゃいます。

曲は、声楽家が最初に学ぶ歌として「Caro mio ben」(恋しき君)を歌われました。それから木村先生の楽しいトークが始まり、モーツァルトのオペラ「ドンジョバンニ」から従者レポレロが歌う「カタログの歌」では本領発揮といったところです。木村先生の音域はバリトンですから主役のドンジョバンニを演じたことは数多くあるのですが、準主役のレポレロ(バス)を演じたことが無いそうです。音楽仲間で冗談に言う「テノールばか、バリトンすけべー、バスのんべー」と合わせて「かの有名な藤原義江さん(テノール)は音域の広い方だった。私も音域が広い。」と意味深なユーモアを披露されました。

声楽家は色っぽい、とよく言われますが、オペ

ラの世界では常人がなしえない色恋の物語を代表して演じてくれますので、それにまつわる逸話が喧伝されることが多くあります。

曲は、イタリア語からドイツ語へ移り、シューベルトの「楽に寄す」(An die Musik)とシューマンの「二人の擲弾兵」を歌われ、15 年もいたデュッセルドルフ歌劇場でしたがドイツ人気質に戸惑いを感じつつ、日本へ、心は故郷札幌へ飛んでいくのでした。

曲は、梁田 貞(札幌出身)作曲「城ヶ島の雨」、高階哲夫作曲「時計台の鐘」(札幌市歌)を南 安雄(札幌出身)編曲で歌われました。アンコールは平井康三郎作曲・石川啄木作詩「ふるさとの」

そして「慶應義塾塾歌」。これほど力強く気品ある「塾歌」が神戸で歌われたことはかつてなかったでしょう。

この後開かれた懇親会でも木村先生による「塾歌」ご指導があり、会員の皆様の歌唱力が相当レベルアップされたことを信じます。これを機会に懇親会の冒頭で「塾歌」を斉唱されてはいかがでしょうか。



懇親会は、和田 憲昌会長のご挨拶、オペラ研究家青戸統子さんの乾杯発声で始まり、木村先生

を交えての楽しい交流とオリエンタルホテルご自慢の料理で時の経つのも忘れるほどでした。関西不動産三田会の永山克彦会長の中締めと会場いっぱい円陣を組んで「若き血」斉唱でお開きとなりました。感謝。

『関西勤務四十年』（二）

堀切 民喜（昭二十九経）

関西経済同友会代表幹事スタッフ

昭和四十一年二月、住友信託銀行の東京調査部で企業調査の仕事をしていた私は突然大阪の本店調査部に転勤を命じられた。当時三十五歳の私にあたえられた任務は四月に関西経済同友会の代表幹事に就任する山本弘副社長のスタッフということであった。

いわば突然白羽の矢が立ったわけであるが、たまたまそれまでに手がたいたいくつかの論文が山本副社長の目にとまったとしかいいようがない。そもそもはその四年ほど前に住友信託銀行が初めて「中期経営計画」を策定したときに担当した「経済・金融環境調査」であり、さらにはそのしばらく後、四十年前後に証券不況が吹き荒れる中でまとめた「某証券会社に関する調査」などである。

経済・金融環境調査

長期経営計画の前提となる中期（三年間）の経済・金融環境を予測するた

めに役に立ったのが「国民総生産」や「国民所得」など、昭和二十年代後半に「千種ゼミ」と「近代経済学研究会（前回紹介）」で学んだマクロ経済学の手法であった。

個人所得、民間設備投資など国民経済の各項目を推計するために簡単な相関式を考案し、来る日も来る日もモノロー電気計算機をまわしつづけて適当な推計値にたどりついた。そして「部門別資金過不足」を求め、これを日本銀行の「資金循環表」のフレームと結びつけて資金吸収面や借入れ需要の見通しをなんとか導きだすことができた。

この仕事は元はといえば、東京調査部の上司の課長が「堀切はケインズ経済学をやったらしいから何とかなるだろう」といわば山勘で引き受けてきたものであったが、当時はあまり知られない分野だっただけに社内でも珍しがられ、たいへん評判になった。

証券不況の頃

「この証券会社の見通しはきわめて暗

い」という私の調書の結論を見て山本副社長は激怒し、ある日の夕方「東京調査部長とともにただちに大阪に説明に来て」という電話が入った。

東海道新幹線の開通する直前であり、その時間には大阪直行の夜行列車も満員だった。

やむなく部長とともに、新宮ゆき那智号に飛び乗り早曉宇治山田に着いて伊勢神宮に参拝し、近鉄の始発を待つて難波に着き、床屋でさらに時間調節をして十時に出頭した。ところがろくに説明も聞かず、ただの十分間で追い出された。

この例のように叱られることが多かったが、たまには褒められることもあった。四十年不況を受けて戦後初めて国債を発行することになり、これの金融市場に及ぼす影響について諸説があったので意見を具申したところ、「裨益するところ少なからず」という激励の葉書ももらった。

山本副社長の財界スタッフとして指名されたのはその直後であり、どうもこれが決め手になったように思える。

（続く）

会員だより

旅行記特集

ジャズメンとの交流

黒田 豊夫(昭37政)

思いもかけずニューヨーク在住のジャズピアニスト白崎彩子(しらさきあやこ)さんから手紙が届いた。私が東京から神戸に帰って来た 97年に彼女がニューヨークに旅立って8年ぶりの便りである。2月24日に東京をスタートし、日本各地で1ヶ月のライブ&ツアーの計画だという。来る3月3日に大阪のミスターケリーズでライブをするので会いたいとのことだった。

白崎彩子さんは5歳よりクラシック、10歳でジャズピアノを始め、14歳頃には新宿「J」にレギュラー出演していたという。

高校と東京芸術大学ではクラシックに専念し、卒業後暫くしてジャズに戻り活躍中である。一度彼女のサイトにアクセスして頂けると、プロフィールがよくお判りいただけると思う。

私は神戸に戻って8年になるが、幸いなことに東京のメンバーとは未だに交流が続いている。

殆どが関西は毎年1回位のライブだが、必ず連絡が貰えるので、毎年再会を楽しんでいる。限られたメンバーだが、少し名前を揚げさせて頂きたいと思う。まず、チコ本田さん、彼女はテナーサックスの渡辺貞夫さんの妹である。私とよく似た年代で頑張っておられるので敬意を払い、かつ彼女からパワーを貰っている。フロリダのヨーコサイクスさんは毎年、春になると日本にやって来る。

ところでよく考えてみると、彼(女)等は、いわゆる大学の「ジャズ研」出身で活躍している人が多い。ピアノでは元岡一英さん(慶應義塾)、守屋純子さん(早稲田)、甲斐恵美子さん(青山学院)、ボーカルでは小笠原千秋さん(津田塾)、野間瞳さん(学習院)、古閑みゆきさん(同志社)等々、ジャズ界では結構有名で皆さん元気に活躍中である。

もうかれこれ何年になるのか、これらの皆さんと毎年お会いしては、愉快的な会話やライブを楽しませて貰っている。(隠れジャズファンでもある。)

名月や ジャズを愛でつつ 今日また

イタリア歴史遺産の旅

樫根 みづえ(昭41政)

昨年12月、3回目のイタリア旅行に行ってきた。今回は、ローマ、フィレンツェ、ヴェネチア、ミラノはより深く、又それ以外の中小の都市の歴史遺産をも逍遥しようという欲張りなツアーである。特に印象に残った都市、美術館、建築物などほんの一部ではあるが思い出を辿ってみよう。

ミラノの南にあるパヴィアの僧院は、玄関の美しいフレスコ画に魅了させられた。中庭の正面の大理石で作られたファサード、回廊のだまし絵など、さすがにルネサンス建築の傑作と云われる所以である。大回廊を取り囲んで修道士の独居房が並んでいる。修道士達は誰とも顔を合わさず、ひたすら厳しい修行を続けていたそうで、俗人の私には想像を超えるものであった。

ヴェローナとヴェネツィアの中間に位置するヴィチエンツァは、建築家パツラーディオとその弟子達による建築物が多く、「パツラーディオの町」と呼ばれ市街全体が世界遺産になっている。極め付きは「テアトロ オリンピコ」と呼ばれる劇場であった。古代円形劇場を模して作られ、舞台は遠近法を使い、奥行が実際の3倍にも見えるように設計されている。急な角度の13段の半円形状になっている客席の最上段から見ると、舞台は立体的な一つの町を作っていた。16世紀に建てられた劇場が、記念建造物だではなく、現在もオペラや演劇が上演されているというのが何とも素晴らしい。

崖の上に立つ世界で一番小さな共和国のサンマリノに泊まった。ホテルへ行くバスから見たクリスマス イルミネーション、山頂から眺めた大パノラマ、出発時間を遅らせて発行してもらった美しい入国スタンプ等、今も楽しい思い出だ。

こうしてミラノから南下してローマに至るまでの15日間の旅は、心地良い余韻を残して終わりを告げたが、豊かで味わい深いイタリア文化の奥行きをあらためて実感した。

次は南イタリアへと、私の“イタリア詣で”は当分続きそうである。

同好会だより

KKJC

近藤 正 (昭 39 商)

2月13日(金)に「通天閣のグルメジャズツアー」と銘打って 例会を行いました。

夕方6時大阪地下鉄恵比須町駅に集合して、最初に目指したのは、通天閣の真下にあるジャズ・バー「BABY」でした。この店は創業50年の老舗でマスターが一人で営業しており、一見さんはお断りとのこと。この日は、約3000のCD・レコードの中から、アニタ・オディのボーカルが流れていました。マスターの自作の真空管式CDプレイヤー・メインアンプとアルティックのスピーカーは、さすがにすばらしい音でした。

お腹の空いたところで、近くのグリル焼(ボン)から出前したタン・シチューは絶品でした。3日間煮込んだ1日30食の限定品で、浪速のロッキーこと赤井英和が紹介してからは、押すな押すなの盛況なのだそうです。

「BABY」を出て、道頓堀を見下ろすビルの一隅にあるジャズ・バー「音々」(ネネ)に梯子しました。店内に入ると壁にでっかい星条旗が貼ってあり、いかにもジャズを楽しむ雰囲気を見せてくれました。美人ママの京子ちゃんは、セミプロのジャズ・シンガーで、近々コンサートを開くとのことでした。

今回は2軒のジャズ・バーをまわり大いにジャズを堪能しましたが、おかげで当日が13日の金曜日ということをお忘れのほ楽しい一夜でした。

次回は、日本のジャズ発祥の地神戸で大いにスイングしようと思っております。

(3月18日 木 18:30~ 神戸 北野坂 ライブハウス 「ソネ」)

KKJC(Kobe Keio Jazz Club)は、現在13名(うち女性5名)のメンバーでジャズを楽しんでおります。メールで情報交換しながら、ライブハウスなどで例会をしております。ジャズのお好きな方の入会をお待ちしております。

イーゼル会

前田 剛資 (昭 39 工)

夫婦でイーゼル会に入会したのは、昨年の絵画同好会展覧会で、**村田**会員からの熱心なお誘いがきっかけでした。**蛭田**会員制作の「日生写生旅行」の爆笑傑作アルバムを交えながらのお誘い。どうもこれに心が動いたようです。

家内は洋裁のデッサンを習ったことがありますが、学校の図工の時間以来、筆を持ったことのない私のこと、6月のある日、絵画部例会に家内を連れて恐る恐る覗いたのが始まりです。さっそく画材一式をお借りし初体験。

小さな会議室をアトリエに和気あいあいとした雰囲気ですっかり気に入って入会しました。**梅地先生**のユーモアを交えたコメントに会員も楽しく応え、和やかな雰囲気の中で毎回描かれて行きます。

私の絵ですが、縁も所縁もなく始めてしまいましたが、絵を描いている間の充実感は何ものにも代えがたく、ずーっと続けていくつもりです。

五代師範代の暖かいまなざしを背に受けながら、これからも。

今月の絵



(イーゼル会：出口英雄)

会員の輪

乗馬同好会

お待ちかね“体験乗馬会&お花見”開催決定
ご家族でお楽しみください。

日時：3月28日(日)9:30 現地集合

12:00 BBQ ランチ

会場：明石乗馬協会(参加者に地図を送ります。)

参加費：体験乗馬&BBQ …5,000円

BBQのみ …2,000円

ポニー乗馬(小さいお子様のみ)1回300円

定員：体験乗馬10名

申込〆切：3月18日(木)

詳細につきましては、世話人までTELorFAXにてお尋ねください。参加希望者は、三瀬会員までご連絡ください。

世話人：三木則夫(明石乗馬協会 078-935-8900)
三瀬祥夫

PC同好会

糸海 恵津子(事務局)

1月例会で、Wordと写真の処理のやり方をおさらいしていただきました。あ~そうなんだ!

なにをどう?とは上手く書けませんが、ほんのささいなことも聞けば納得「なるほど!」「目からウロコ」とはこのことです。無駄な時間を費やして、会員の皆さまにご迷惑をかけてしまっていた自分に改めて反省した次第です。

ワカランおばさんを襲名したい気分です。

同好会として、他には**囲碁同好会**・**ゴルフ同好会**・**テニス同好会**があります。

詳細については、事務局にお尋ねください。

渡邊 正夫会員より

まずは自己紹介です

井上 祥(昭56法)

昭和56年に法学部法律学科を卒業いたしました。父も昭和31年文学部の卒業で、私の生誕が慶應義塾創立100周年ということから幼少の頃から聞かされ父と同じ慶應義塾で学んだ?遊んだ?ことを誇りに思っています。生まれは東京都新宿区神楽坂で、父の転勤で北九州の小倉高校を卒業し、父が東京から転勤先の福岡に住居を移した事もあり、慶應義塾卒業後は、近畿日本ツーリスト(株)の福岡市内の支店、事業部で海外旅行の営業、営業管理ならびに企画販売管理を23年間してまいりました。福岡では福岡三田会に所属し年4回の例会には23年間出席し、多くの方々と公私にわたり親しくさせていただき塾員の心の温かさを感じました。昨年10月から、初めての神戸(関西に住むのも初めて)勤務で、唯一の家族の妻(佐世保出身で専門学校の講師)を福岡に残し単身赴任をしています。見るもの食べるものお会いする方々がほとんど初めての経験で、**浦上先輩**のお言葉ではないですが新人になったつもりで日々生活しています。

神戸慶應倶楽部では入会以来、多くの方々に親しくしていただき2月のオペラコンサートでは目頭が熱くなりました。そして、イーゼル会にも入会し30年ぶりに絵筆を握りました。22年の東京、23年の福岡、妻には今後の人生は神戸で過ごしたいと話している様な状況です。

休日の日曜は、唯一私と一緒に神戸についてきてくれ、初めて関西や本州の道を走ることになった福岡ナンバーの赤い車と神戸や近郊のドライブを楽しんでいます。今後とも、よろしくご指導、ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

次は、**横尾 嘉昭さん**(昭56法)にリレーします。よろしくお祈りします。



~~3月例会のご案内~~

日時：3月26日(金) 18:30より

会場：東天閣

神戸市中央区山本通3 14 18

(Tel: 078-231-1351)

講師：野澤 武史氏(平14卒)

神戸製鋼ラグビー部

演題：『慶應ラグビーと神鋼ラグビー』

会費：8,000円

女性及び平6卒以降の会員 6,000円

~~今後の行事予定~~

○4月21日(水) 18:30~

4月度例会 倶楽部ルーム 講師未定

○5月21日(金) 18:30~

2004年度総会 蘇州園

詳細につきましては、決まり次第BRB・メールマガジン等でお知らせしますので、毎月ご覧ください。

慶早ゴルフ対抗戦について

日時：2004年4月6日(火曜日) 集合9:20

場所：廣野ゴルフ倶楽部

三木市志染町広野7-3 (TEL: 0794-85-0123)

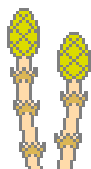
会費：6,000円(パーティー代・賞品代)

プレー代、昼食代等(約35,000円)は各自でお支払い願います。

申込締切：3月22日(月)

お問合せは、森本 泰暢幹事

または事務局まで。



皆さんの投稿をお待ちしています。
「BRB」についてのご意見、ご感想をお聞かせください。
堀 友子
八巻晤郎

訃報

遊川 悦史会員(昭31経)

平成15年11月26日(享年70歳)

2003年1月例会ご出席、BRBには3月号に投稿いただいています。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

編集後記

○牛に続いて鶏、次はなに？不安だらけの昨今、食にまで及んで来ました。霞を食べて夢を見ているしかないのでしょうか。重いコートを脱いで、軽やかに闊歩したいですね。
三月号が済んだら、月遅れのお雛さまにも陽の目を見せてあげなければ...。
(ほ)
○木村先生の歌声に酔い、歌唱指導に感激した例会、森田さんの報告にある「贅沢」を超えたすばらしいひとときでした。どこか艶つばいまなざしと巧みな話芸で会場を盛り上げ、オペラをぐーんと身近なものに感じさせてくれました。
乗馬体験とお花見。馬場に隣接した広場はサクラに取り囲まれお花見には絶好の場所。ぜひ家族でBBQを楽しんで